

南房総市介護予防・日常生活支援総合事業

令和6年度リエイブルメント事業 モデル実施の経過



南房総市保健福祉部高齢者支援課
令和7年2月28日

Minamiboso City, Chiba, Japan

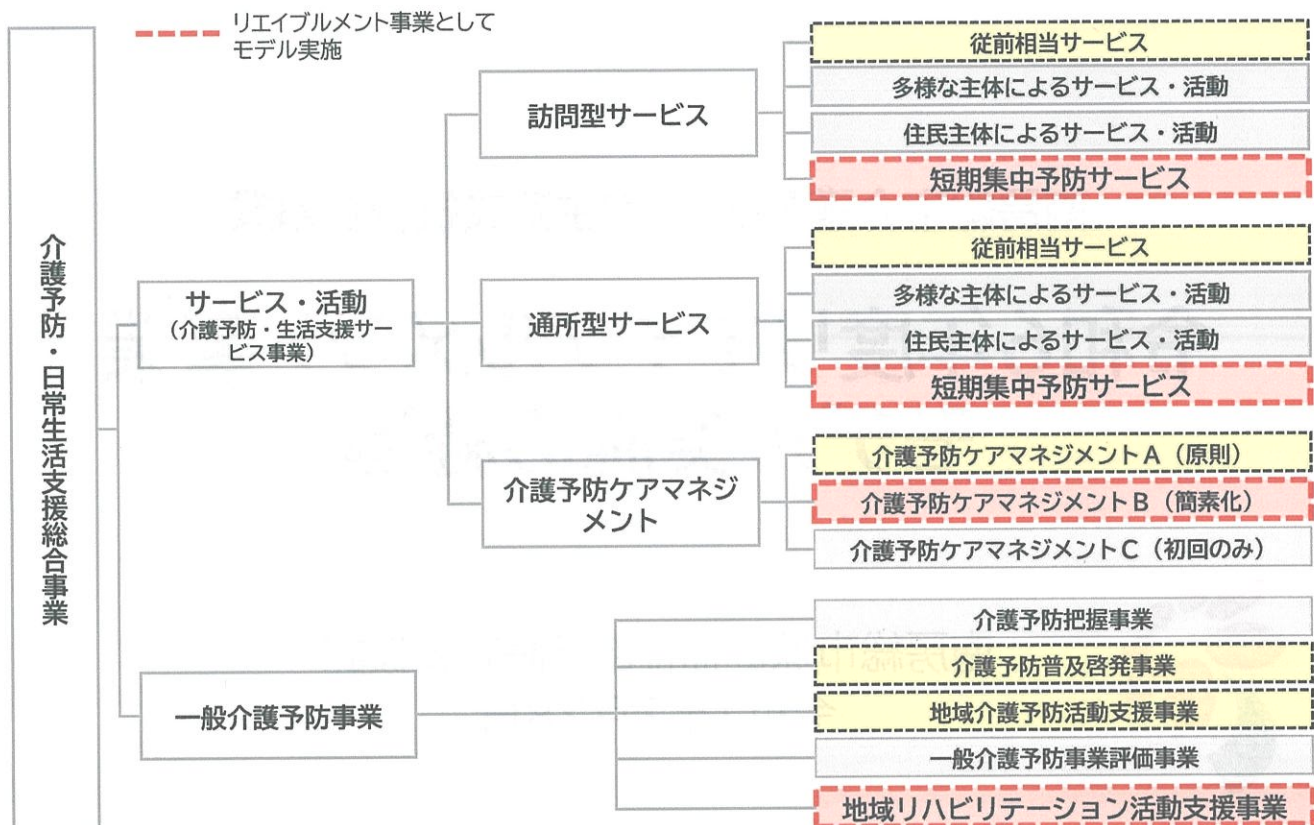
介護予防・日常生活支援総合事業

法定サービス(給付)ではなく、地域の実情に応じた事業を創出し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を目指すもの。南房総市では、平成29年度から予防給付の訪問介護(ホームヘルプ)と通所介護(デイサービス)が総合事業に移行している。

	介護給付	予防給付	総合事業
対象者	要介護	要支援	要支援、事業対象者ほか
実施方法	給付(法定サービス)	給付(法定サービス)	事業(市町村に裁量)
サービス種類	■居宅サービス ホームヘルプ、訪問看護・リハ、デイサービス、デイケア、ショートステイ、福祉用具貸与・購入、ケアマネジメント等 ■施設サービス 特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院等 ■地域密着型サービス 認知症デイ、小規模多機能、グループホーム等	■居宅サービス 訪問看護、訪問リハ、デイケア、ショートステイ、福祉用具貸与・購入、住宅改修等 ■地域密着型サービス 認知症デイ、グループホーム、小規模多機能、ケアマネジメント等	■サービス・活動 (介護予防・生活支援サービス) ・ホームヘルプ、デイサービス(旧予防給付) ・多様なサービス(市町村独自事業) ■一般介護予防事業 ・介護予防教室、住民主体の「通いの場」、リハビリテーション専門職等の派遣

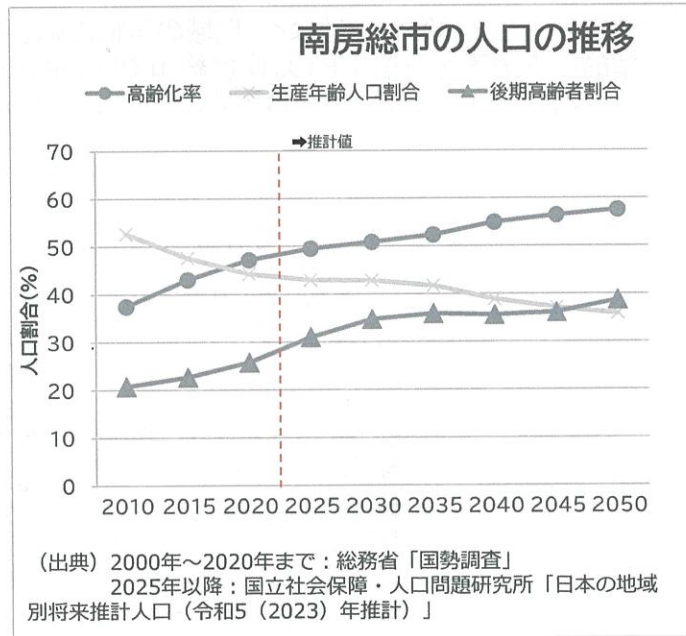
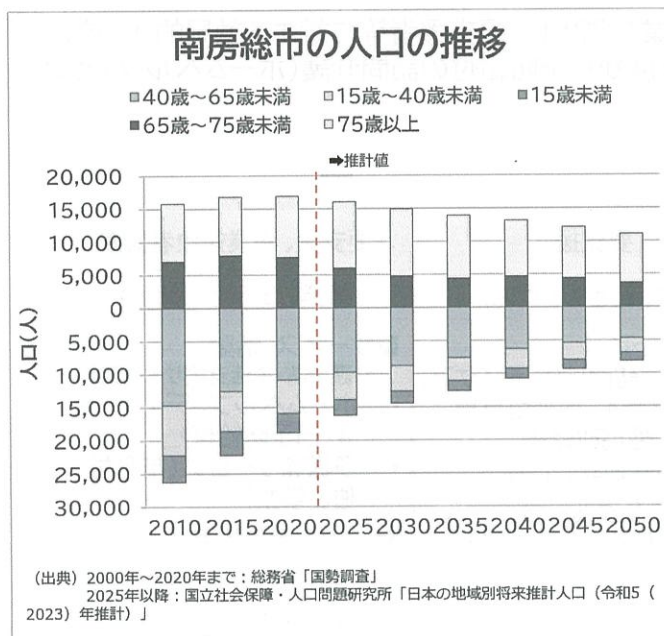
注)介護保険サービスにはこのほか包括的支援事業と任意事業がある。

Minamiboso City, Chiba, Japan



注) 国が例示する総合事業にはこのほか、その他生活支援サービスという区分がある。

なぜリエイブルメントなのか



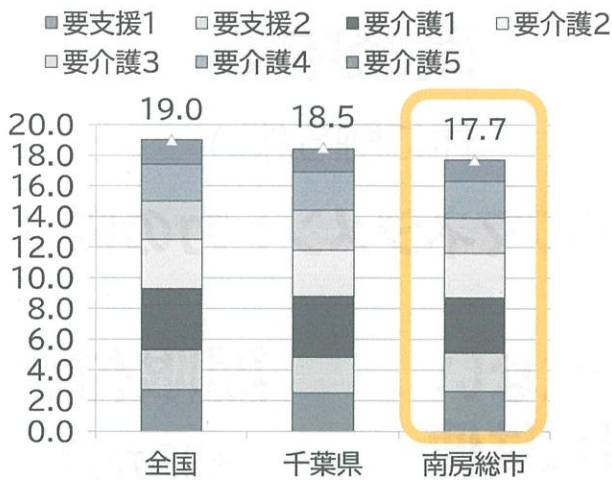
■ 生産年齢人口だけでなく、高齢者人口もに減少に転ずる

■ 一方、後期高齢者の割合は、今後も上昇し続ける



なぜリエイブルメントなのか

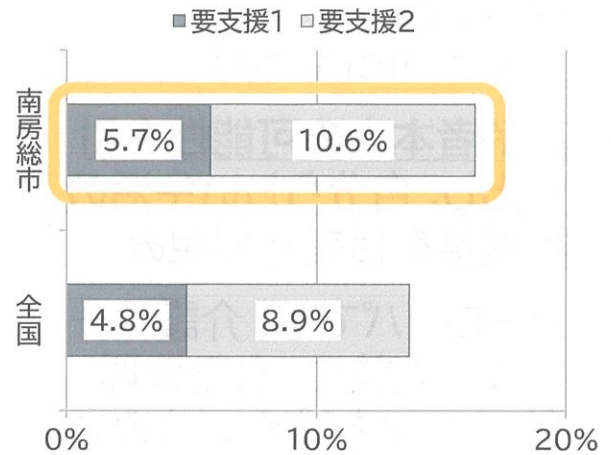
調整済み認定率



(時点) 令和4年(2022年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

- 全国平均や県平均と比較して、認定率は低い

通所リハビリ給付月額額の割合(受給者1人当たり)



(時点) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

- 全国平均と比較して、デイケアの給付割合が高い



なぜリエイブルメントなのか

弱み

- 重度化しやすい後期高齢者の割合の増加
- 人口減による専門職をはじめとした担い手の不足

強み

- 高齢者の自立意識の高さ(≡認定率の低さ)
- 特に軽度者(要支援認定者)の旺盛なリハビリ意欲

サービス資源が限られる中で
「元気でいたい」という
高齢者の願いを生かすことができるか



リエイブルメントとは

- “再び自分でできるようになること”
(Re-ablement)
- 高齢者本人の可能性を引き出し、自分らしい生活の再獲得を目指す取り組み
- ヨーロッパでは、介護サービス導入前に、自己管理(セルフマネジメント)の力を高めるためにリエイブルメントプログラムを実施



これまでの経過



実施体制

- 「南房総市リエイブルメント研究会」を組織
- 市内リハビリテーション専門職と派遣協定の締結(6名)
- 通所系サービス事業所に業務委託(6事業所)

研修履歴

- リハ専門職・事業者実務者講習 3回(6/19・8/21・9/11)
- 介護予防ケアマネジメント研修 2回(7/31・12/20)
- 生活支援コーディネーター研修 2回(6/10・12/20)
- 地域ケア会議研修 3回(7/31・8/30・12/20)

プログラム進捗

- 3月上旬までにすべての利用者が卒業予定